

患者の視点で、心とからだに優しい治療法を厳選!

受けたい医療

[医療最前線]

がん / 脳・心臓・血管

感染症 / 高齢者 / 腰・背骨

目・耳 / 消化器 / 腎臓 / 神経

子ども / 歯 / 心臓ほか

2025
年版

YOMIURI SPECIAL 160
「病院の実力」特別版
読売新聞医療部編
定価1430円(10%税込み)

[医療ルネサンス]

高血圧

生活習慣の見直しが欠かせない

不整脈

スマートウォッチで兆候チェック



[インタビュー]

前田 吟さん

狭心症で緊急治療

矢方美紀さん

25歳で見つかった乳がん

[最新ルポ]

手のふるえの最新治療
手術で治す排尿障害
地域で取り組む在宅医療

最先端の
医療情報を
わかりやすく
解説

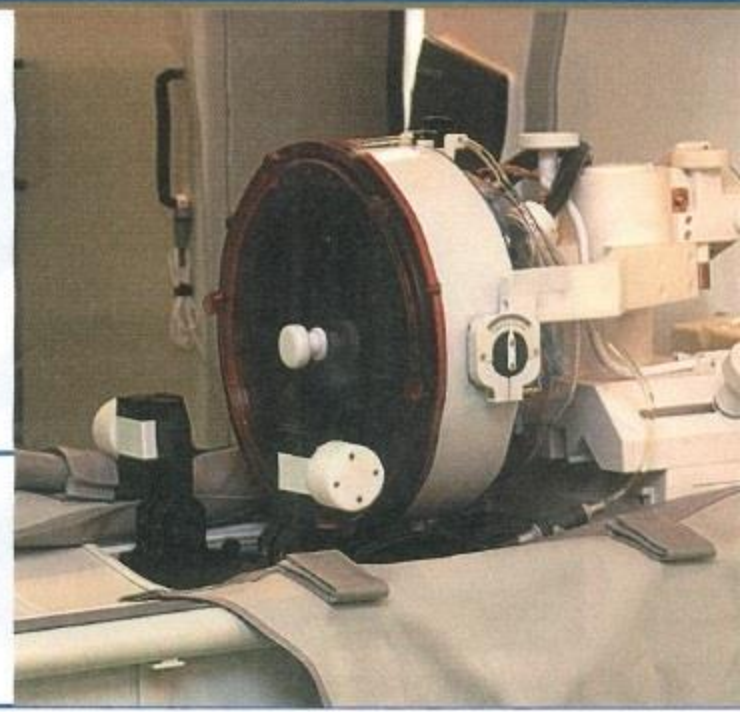
読売新聞社

名医がお答えします

気になる「手のふるえ」

放っておくと症状が進むことも…

本態性振戦とパーキンソン病の先進治療 MRガイド下集束超音波治療FUSとは



「手がふるえて字が書けない」「箸やコップをうまく持てない」…。特に中高年の間でこうした症状を訴える人が増えている。「ふるえ」の治療に長年携わってきた日本定位機能神経外科学会の理事長の平林秀裕医師は「ふるえは治すことのできる病気。お悩みの方はぜひ専門の医師に相談を」と話す。

薬物療法で効果がなく 日常生活に支障をきたす場合は 手術療法を検討

「ふるえ」をきたす代表的疾患には「本態性振戦」と「パーキンソン病」がある。本態性振戦（「本態性」とは「原因がはっきりしない」、「振戦」は医学用語で「ふるえ」のこと）はふるえ以外に症状がなく、主に両手がふるえる病気だ。命に関わるわけではないが、「書字ができない」「箸が使えない」など、日常生活に支障をきたす。

一方、パーキンソン病は中脳黒質のドーパミン産生神経細胞の減少を特徴とする運動障害疾患だ。難病に指定されており、ふるえのほか、動作緩慢、筋強剛（筋肉がこわばる）、姿勢保持障害など多彩な症状が出る。本態性振戦はある姿勢時に出現しやすく、パーキンソン病はじつとしているときに起きやすい。

いずれの疾患も薬物療法から始めるが、効果が得られない時は手術療法（機能的脳神経外科療法）が行われる。

「頭蓋骨に小さな孔を開けて凝固針を入れ、脳の視床にある神経回路を熱凝固で壊す高周波凝固術（RF）や、脳の中に刺激電極

を留置する脳深部刺激療法（DBS）が行われてきましたが、現在では超音波を一点に集めて病巣部を熱凝固するMRガイド下集束超音波治療（FUS）が主流となっています」（平林医師、以下同）

メスを使わず体にやさしい 振戦をとめる適切な選択肢

「FUSは1024本の超音波ビームを特定の神経核（ターゲット）に照射して凝固します。頭に孔を開ける必要がなく、MRIで治療ターゲットの位置と温度を的確にモニターでき、症状の改善具合を確認しながら治療を行えるのが大きなメリットです。非侵襲なので出血や感染症のリスクも少なく、従来のRFやDBSに比べて、有効性は格段に向上しました」

2019年に本態性振戦、2020年にはパーキンソン病に対して保険適用となり「振戦をとめたい」と願う方に適した選択肢」と平林医師はいう。

「頭蓋骨の状態により凝固できないことや、保険適用が生涯に1回だけ、脳の一侧にしか認められていないなど課題もありますが、脳腫瘍、アルツハイマー病などへの応用も試みられており、今後も発展が期待できる治療法です。ふるえに悩む患者さんは全国に300万人以上いると推定されていますが、外科的治療を受けている方は年間1500人程度。ふるえは治すことのできる病気ですので悩んでいる方はぜひ専門の医師にご相談ください」

● 監修

日本定位・機能神経外科学会 前理事長
大西脳神経外科病院 学術顧問

平林 秀裕

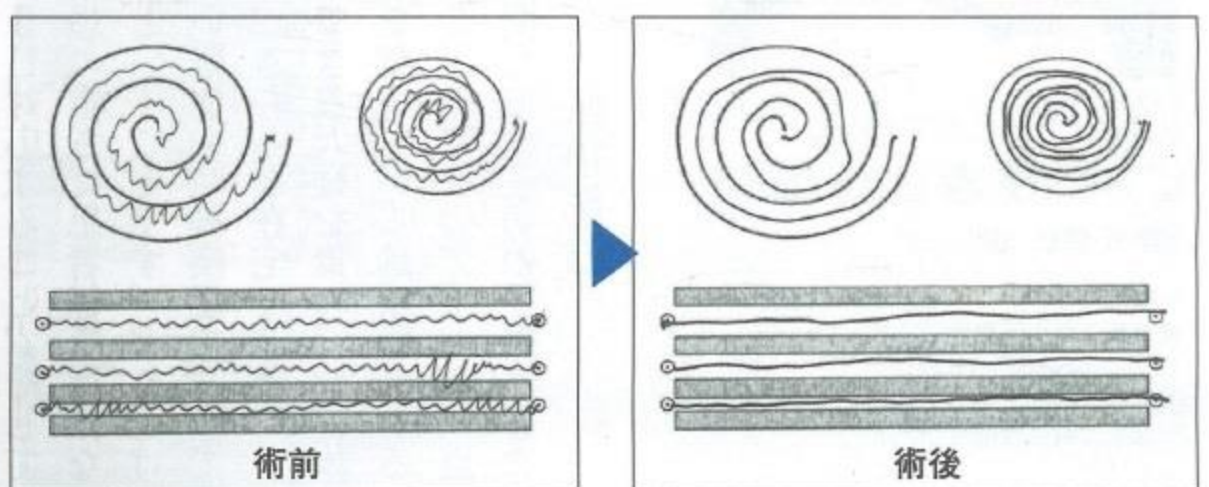
FUSによる本態性振戦と パーキンソン病の治療を行う病院（順不同）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (北海道) 北斗病院 | 11 (大阪府) 彩都友誼会病院 |
| 2 (北海道) 柏葉脳神経外科病院 | 12 (大阪府) 北野病院 |
| 3 (北海道) 札幌孝仁会記念病院 | 13 (兵庫県) 大西脳神経外科病院 |
| 4 (宮城県) 国立病院機構 宮城病院 | 14 (兵庫県) ツカザキ病院 |
| 5 (埼玉県) 熊谷総合病院 | 15 (岡山県) 岡山旭東病院 |
| 6 (東京都) 森山脳神経センター病院 | 16 (愛媛県) 貞本病院 |
| 7 (神奈川県) 新百合ヶ丘総合病院 | 17 (福岡県) 福岡脳神経外科病院 |
| 8 (神奈川県) 湘南藤沢徳洲会病院 | 18 (鹿児島県) 厚地リハビリテーション病院 |
| 9 (静岡県) 豊田えいせい病院 | |
| 10 (愛知県) 名古屋共立病院 | |

※2024年8月末現在

治療前と治療後に渦巻きや直線をなぞるテスト

- ▶ 渦巻き線、直線ともに、なるべく点線の枠に当たらないように、なめらかに・と・を結んでください。
- ▶ 肘や手首を紙や机につけず、浮かせて描きます。





医療法人社団 英明会

大西脳神経外科病院

<https://www.onc.akashi.hyogo.jp>



脳神経疾患全般に強い専門病院 FUS治療の累計実績は174件



日本定位・機能神経外科学会前理事長
大西脳神経外科病院 学術顧問

平林 秀裕

ひらばやし・ひでひろ / 医学博士、Ph.D. (ウメオ大学、スウェーデン)。1983年奈良県立医科大学卒業。2009年同大学脳神経外科准教授。2018年国立病院機構奈良医療センター院長。2024年5月上本町ふるえと頭痛・脳神経クリニック院長。

めています。を行うよう努めた的確な治療の状態に応じた患者さんあり、それぞれ

本院では2016年5月から、本態性振戦やパーキンソン病治療のためMRガイド下集束超音波治療（FUS）を

本態性振戦やパーキンソン病などの難易度の高い手術経験が豊富

当院は脳と神経の疾患に特化した病院として2000年に開院。脳卒中を中心に24時間365日の救命救急体制を整え、先進的で高度な治療を提供し、東播磨地区など近隣住民の厚い信頼を得ています。2022年には一次脳卒中センターコア施設に認定され、2023年1月から12月の脳卒中の治療総数は1367件、血管内治療件数は311件（tPA件は除外）の実績があります。首や腰など脊椎脊髄疾患、パーキンソン病や認知症など脳神経内科の治療、回復期リハビリにも定評があり、在宅医療も含めた包括的な地域医療を提供しているのが特徴です。

適用されませんが、両側の振戦や、再発に困っている患者さんもおあり、慎重に検討をした上で両側手術を行う事もあります。2回目以降は、自費診療か別の治療法で行う必要が有ります。当院ではこれまで両側手術10件の実績が

FUSは生涯1回しか保険適用されませんが、両側の振戦や、再発に困っている患者さんもおあり、慎重に検討をした上で両側手術を行う事もあります。2回目以降は、自費診療か別の治療法で行う必要が有ります。当院ではこれまで両側手術10件の実績が



開始しました。

これまでの累計治療実績は174件（24年9月まで）、うち本態性振戦164件、パーキンソン病10件。いずれも良好な結果を得ています。

特にパーキンソン病治療では、運動を司る大脳基底核の淡蒼球内節への超音波集束は難易度が高いのですが、そうした症例への手術経験が豊富なのも当院の強みです。